

平成24年第2回定例会一般質問

平成24年6月15日・18日・19日

(14枚のうち1枚目)

| 順位 | 発言者 | 発言時間 | 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 | 長から委任を受けた説明者 |
|----|---------|------|---|--|--------------|--------------|
| 1 | 前田 和文議員 | 30分 | <p>1 始良・伊佐地域振興局建設部伊佐市駐在機関について</p> <p>2 廃屋対策について</p> <p>3 通学路の安全確保について</p> | <p>(1) 現在の機能維持・向上を求め、近年の異常気象的災害時の危機管理に対応すべきではないのか。担当部局の現状を確認したい。</p> <p>(2) 市民が安心して暮らせる町づくりへの対策として、県との交渉はどのように取り組んでいるのか。</p> <p>(1) 各地区に放置状態の廃屋が、多数見受けられる。防災上・防犯上非常に問題である。行政としての対策は、取れないのか。</p> <p>(1) 全国的に通学路において、学童が犠牲になる交通事故が多発している。今一度、全市的な安全点検や市民（特に高齢者）への周知を図るべきではないか。</p> | 市 長 | |
| | | | | | 教 育 長 市 長 | |

平成24年第2回定例会一般質問

平成24年6月15日・18日・19日

(14枚のうち2枚目)

| 順位 | 発言者 | 発言時間 | 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 | 長から委任を受けた説明者 |
|----|--------|------|---|---|-------|--------------|
| 2 | 左近充 議員 | 20分 | <p>1 湯之尾の整備について</p> <p>2 北薩ヘリポート公園の利用について</p> | <p>(1) 湯之尾橋の整備について</p> <p>(2) 旧川内川埋め立て地の公園化は、どのようになっているか。</p> <p>(1) 現在の利用状況は。</p> <p>(2) グラウンドゴルフが出来るように、目土^{めつち}を入れ整備出来ないか。</p> | 市長 | |

平成24年第2回定例会一般質問

平成24年6月15日・18日・19日

(14枚のうち3枚目)

| 順位 | 発言者 | 発言時間 | 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 | 長から委任を受けた説明者 |
|----|---------|------|--|--|-------|--------------|
| 3 | 植松尚志郎議員 | 20分 | <p>1 平均寿命を延ばす方策はないか</p> <p>2 雨期の水害防止について</p> | <p>1年の中で、1月から2月を中心に、寒い時期の死亡者が多い。これについて、対策が必要と考えるが、当局の考えを伺う。</p> <p>内水用ポンプは取り付けまで時間がかかり、住民から遅いという不満の声をいたるところで聞く。 豪雨が予想されたら、早く取り付けられるよう業者を指導してほしい。</p> | 市長 | |

平成24年第2回定例会一般質問

平成24年6月15日・18日・19日

(14枚のうち4枚目)

| 順位 | 発言者 | 発言時間 | 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 | 長から委任を受けた説明者 |
|----|-------|------|-------------------|--|-------|--------------|
| 4 | 松元正議員 | 30分 | 1 伊佐の教育の青写真をどう描くか | <p>(1) 伊佐市の教育の実情として ア 中学校は小学校に比べて学力が下がると聞くがなぜか。 イ 鹿児島県の全国レベルでの教育水準及び伊佐市の鹿児島県レベルでの教育水準はどのくらいか</p> <p>(2) 国立青少年教育振興機構は子どもの自立心を育てるためには自然体験を増やす必要があると指摘しているが、「想像力」・「創造力」を育てるための見解を伺いたい。</p> <p>(3) 教育の基本は一人ひとりの子どもに応じた教育をする、集団の中で学習や生活をする力をつけることだが、現実として改めるべき教育についての見解を伺いたい。</p> <p>(4) 教養とは人の心がわかる心、教育の根本は人の心がわかる心を養うこと。教育の究極の目的とは。</p> <p>(5) 伊佐式教育システムづくりについて</p> | 教育長 | |

平成24年第2回定例会一般質問

平成24年6月15日・18日・19日

(14枚のうち5枚目)

| 順位 | 発言者 | 発言時間 | 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 | 長から委任を受けた説明者 |
|----|-------|------|--|---|-------|--------------|
| 5 | 畑中 香子 | 40分 | <p>1 国民健康保険について</p> <p>2 水俣病について</p> <p>3 子ども医療費減免制度について</p> | <p>(1) 昨年11月に、医療費一部負担金の減免について規則を定め、運用を始めているが、申請状況は。市民への周知はどのように行っているか。</p> <p>(2) 一部負担金減免対象の基準は。</p> <p>(3) 国保証の資格証明書と短期証の発行状況と問題点について。</p> <p>(1) 特措法期限を前に、市民の中に水俣病の未申請者がいないか、調査を行う考えはないか。</p> <p>(1) 子どもの医療費は県下19市中、6市が小学校就学前まで無料、1市が9歳まで無料、2市が小学校卒業まで無料、7市が中学校卒業まで無料となっている。助成拡大を行うべきではないか。</p> | 市長 | |

平成24年第2回定例会一般質問

平成24年6月15日・18日・19日

(14枚のうち6枚目)

| 順位 | 発言者 | 発言時間 | 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 | 長から委任を受けた説明者 |
|----|---------|------|--------------|--|-------|--------------|
| 6 | 諏訪 信一議員 | 15分 | 1 障がい者雇用について | <p>障害者自立支援法の一部改正が施行されて2年目を迎えた。2013年度からは、障がい者の法定雇用率も0.2%引き上げられ、2%の適用と予定されている。法定雇用率が見直されるのは15年ぶりのことであり、地方自治体など公的機関は2.1%から2.3%に、都道府県教育委員会は2.0%から2.2%に引き上げられる。法定雇用率の引き上げで、企業などに障がい者の雇用を一層増やす内容となっている。</p> <p>(1) 伊佐市役所の雇用率は何%で、何人の雇用がなされているか。</p> <p>(2) 今後の採用予定は。</p> <p>(3) 市内企業の雇用率は何%か。</p> <p>(4) 雇用状況と職種はどのようなか。</p> | 市長 | |

平成24年第2回定例会一般質問

平成24年6月15日・18日・19日

(14枚のうち7枚目)

| 順位 | 発言者 | 発言時間 | 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 | 長から委任を受けた説明者 |
|----|---------|------|-----------------|--|-------|--------------|
| 7 | 鶴田 公紀議員 | 40分 | 1 消防防災関連について | (1) 過去の災害対策本部の設置状況は。 (2) 避難勧告、避難指示命令の発令状況及び発令の要因と基準並びに伝達方法は。 (3) 市・消防団・消防署・警察の業務内容及び連携は。 (4) 想定外と思われる災害はどのようなことを予想されるか、また、発生したときの対応策は。 (5) 水位観測所の増設検討は。 (6) 近年の火災発生状況と行方不明者の件数・捜索基準及び日数・生死の状況・年齢等について。 (7) 消防団の活動及び組織再編や報酬問題等の検討は。 | 市長 | |
| | | | 2 交流人口や定住人口の実績は | (1) 定住促進住宅の利活用状況と定住者の状況は。 (2) 農家民泊による交流人口は。 (3) 東日本大震災関係者の移住状況は。 (4) 子育てに日本一やさしいまちへの交流及び定住状況は。 (5) 自然環境のなかで、障がい児と健常児との交流の活動拠点づくりはできないか。 | 市長 | |

平成24年第2回定例会一般質問

平成24年6月15日・18日・19日

(14枚のうち8枚目)

| 順位 | 発言者 | 発言時間 | 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 | 長から委任を受けた説明者 |
|----|---------|------|-------------------------|---|-------|--------------|
| 8 | 久保 教仁議員 | 30分 | 1 新規就農支援について | (1) 新規就農支援の周知徹底はなされているか。 (2) 新規就農相談は、何件ほどあったか。経営体・規模・技術・資金等の相談について、どのように対処されているか。 (3) 昨年度までの新規就農者の実績は。また、今年度の市内の該当者は何人か。 (4) 当初予算は、市単独5人、国庫2人分を予算計上しているが、補正をくみ新規就農の拡大・定着を図るべきではないか。 (5) 迅速な給付を行うためには、「人・農地プラン」の作成が必要だが、今月末までにできるのか。 | 市長 | |
| | | | 2 伊佐米のブランド化に向けた取り組みについて | (1) 伊佐米ブランド計画検討委員会の協議は、伊佐米のブランド化につながるのか。 (2) 伊佐市の水稻エコファーマーは何人いるか。それは水稻耕作者の何割にあたるか。 (3) 県の認証制度を踏襲できないで、ブランド米といえるか。 | 市長 | |

平成24年第2回定例会一般質問

平成24年6月15日・18日・19日

(14枚のうち9枚目)

| 順位 | 発言者 | 発言時間 | 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 | 長から委任を受けた説明者 |
|----|---------|------|---|---|-------|--------------|
| 9 | 沖田 義一議員 | 20分 | <p>1 口蹄疫について</p> <p>2 曾木の滝及び周辺の整備について</p> | <p>(1) 病状発見の一報が入ったときの対処は、迅速・確実性が求められるが、伊佐市で発生したときの関係機関、畜産農家、職員等への伝達、協力企業への依頼等について（県、隣接自治体）</p> <p>(2) 2010年の例では、感染拡大にともない、迅速化が問題となつて、6月から写真判定を導入したが、現在ではどうなっているか。</p> <p>(3) 畜産農家等への防疫対策の徹底について</p> <p>(4) 埋却地の確保はどの程度確保できたか。</p> <p>(5) 対策の基本は、徹底した検疫、早期発見と殺処分、半径10キロ移動制限区域、半径10キロ搬出制限区域である。前回の発生では特に早期発見と殺処分、埋却地確保、埋却に手間取った。災害発生と同じように自衛隊の早期動員要請も検討すべきと思うが。</p> <p>(1) 新曾木大橋が開通して6ヶ月経過したが、その評価について。</p> <p>(2) 曾木の滝周辺の魅力を伊佐の観光面として位置付け、伊佐の他の観光地と組み合わせ、1年間を通じ、魅力ある観光地としていく必要があるが。</p> <p>(3) 旧曾木大橋のあり方について</p> <p>(4) 小水力発電所について</p> | 市長 | |

平成24年第2回定例会一般質問

平成24年6月15日・18日・19日

(14枚のうち10枚目)

| 順位 | 発言者 | 発言時間 | 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 | 長から委任を受けた説明者 |
|----|---------|------|---|--|-------|--------------|
| 10 | 古城 恵人議員 | 40分 | <p>1 本市の行政機構図における市議会の位置づけについて</p> <p>2 県道針持・菱刈線流沫対策について</p> <p>3 有害鳥獣対策について</p> | <p>本市の部署別紹介（行政機構図）で、市議会は教育委員会と農業委員会との間に位置づけている。市議会は、市長・教育委員会等各委員会と離して冒頭に記載すべきではないか。</p> <p>県道針持・菱刈線沿いの笠松自治会は、うしろに笠松丘を控え、大雨時は雨水が県道側溝を下って、県道を直角に横断し、旧宮之城線敷地から約100m下流の排水路に流れ込む。この流沫で旧踏み切り付近は、長い間溢れた水で数件の住宅床下を洗うため、住民は市へ何らかの対応を要請してきた。結果的に県と市、市の課内でも何処がどう対処すべきか結論を得ぬまま今日に至っている。雨期は目前、協議の結果と対策をすみやかに笠松自治会に示すべきではないか。</p> <p>ここ三年で、二回この問題を取り上げて対応を質してきた。今年4月には、関白陣周辺を夜間調査したところ、一晩で30頭あまりのシカと遭遇した。本市有害鳥獣対策の進捗について再度質したい。</p> <p>(1) 県および、近隣市町との連携はどうしているのか。</p> <p>(2) 市長は、旧大口地区の有害鳥獣捕獲隊設置については猟友会があるので必要ないとの答弁だった。再度検討する考えはないのか。</p> | 市長 | |

平成24年第2回定例会一般質問

平成24年6月15日・18日・19日

(14枚のうち11枚目)

| 順位 | 発言者 | 発言時間 | 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 | 長から委任を受けた説明者 |
|----|---------|------|---|--|--|--------------|
| 11 | 柿木原榮一議員 | 40分 | <p>1 自治基本条例への考え方及び条例の制定について</p> <p>2 教育基本条例への考え方・条例の制定及び伊佐の学校教育の学力向上のため、教育基本条例の活用はできないか。</p> <p>3 通学路の交通安全の確保について</p> | <p>全国で最初の自治基本条例は、北街道ニセコ町まちづくり基本条例（平成13年4月施行）と言われているが、今では約200の市町村で制定されている。伊佐市は自治基本条例への考え方及び条例の制定についての方向はどのようにされるのか。</p> <p>(1) 教育基本条例のいろいろな動きのある中、ある府・市では、「教育行政基本条例」、「職員条例」という形で、成立している。伊佐市教育委員会で教育基本条例の考え方の検討はなされないのか。</p> <p>(2) 伊佐の学校教育で平成23年の児童生徒の学力の実態について発表があったが、「基礎・基本」定着度調査平均通過率(%)小学5年生・中学1年生・中学2年生及び「全国学力・学習状況調査」の結果の学力調査平均通過率中学3年生は散々なものであり、段々悪化していると思われる。教育基本条例を制定し、抜本的に教育委員会部局としても改革はできないか。</p> <p>(1) 通学路で子供・児童が交通事故で多くの犠牲となっているが、伊佐市の通学路での交通安全の確保はどのようになっているか。ハード面ソフト面で現状の分析はできているのか。</p> <p>(2) ふれあい農道の交差点の交通安全は、万全か。</p> <p>(3) 信号機のない横断歩道に、黄色の横断旗の設置はできないか。</p> | <p>市長</p> <p>教育委員長 教育長</p> <p>市長 教育長</p> | |

平成24年第2回定例会一般質問

平成24年6月15日・18日・19日

(14枚のうち12枚目)

| 順位 | 発言者 | 発言時間 | 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 | 長から委任を受けた説明者 |
|----|---------|------|----------------|---|-----------|--------------|
| 12 | 丸田 和時議員 | 30分 | 1 今後の農政の方向について | <p>(1) 本市は農業を主産業としたまちであり、農業が衰退すると市全体も衰えていく。市としては多くの補助事業や市単独の農業政策を実施し、後継者対策、農産物の推進や生産向上に取り組んでいる。しかし、現在の農業、農村の現状を考えると、農業所得の減少、後継者不足、経営面積の少なさ、農業機械や資材、農薬等のコスト高で、農業や農村を維持できるものではない。今後の方向としては、集落営農や法人化の育成により低コストや規模拡大、後継者不足の解消、所得の向上、農地の維持を図る必要がある。23年度より始まった、人・農地プラン(地域農業マスタープラン)の推進により、今後の農業政策を方向づけてほしい。現在の人・農地プランの取り組みと推進状況を伺いたい。</p> <p>(2) 6次産業化法や農商工連携事業を利用し、産直販売と加工場の設置により「道の駅」的な販売所をつくる考えはないか。</p> | 市長 | |
| | | | 2 鳥神岡整備について | <p>(1) 伊佐富士と呼ばれる鳥神岡はまさに伊佐市のシンボリック山である。その頂上から見下ろす風景は四方が見えて絶景である。しかしその登山道は6合目あたりから木の根がむき出しになり、滑りやすく、子どもや高齢者には大変厳しいものである。</p> <p>子どもたちの教育的な観点からも、誰でも容易に登れる登山道が必要と思う。また現在、頂上付近は雑木が伸びて眺望も悪くなっている。登山道と頂上付近の整備ができるか伺いたい。</p> | 市長 教育長 | |

平成24年第2回定例会一般質問

平成24年6月15日・18日・19日

(14枚のうち13枚目)

| 順位 | 発言者 | 発言時間 | 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 | 長から委任を受けた説明者 |
|----|---------|------|--------------|--|-----------|--------------|
| 13 | 福本千枝子議員 | 40分 | 1 防災訓練について | <p>東日本大震災を教訓に防災訓練は住民の生命を守るために必要である。そこで、5月27日、伊佐市全域で実施された防災訓練について伺う。</p> <p>(1) 各コミュニティや自治会での実施状況は。</p> <p>(2) 自治会での各戸への伝達方法は。</p> <p>(3) 市内の有線・無線の整備状況は。</p> <p>(4) 無線設置のための助成制度は。</p> | 市長 | |
| | | | 2 中学校の統合について | <p>(1) 平成27年4月より、山野中、大口南中、大口中が統合し、大口中央中学校となる。それにともない、保護者の不安もうかがえる。通学のためのスクールバスや制服等の問題をどのように考えているか。またそのことで保護者との協議をどうされるのか伺う。</p> | 教育長 市長 | |
| | | | 3 旧曾木大橋について | <p>(1) 新曾木大橋や展望台と研修施設を兼ねた観光拠点施設も完成した。本年度は駐車場、多目的トイレを整備され、多くの観光客が見込まれると考える。曾木の滝は、旧曾木大橋からの展望も絶景である。市長は、旧曾木大橋を遊歩道として残すことを、多くの皆さんの声を聞いて判断することだったが、その後どうなっているか伺う。</p> | 市長 | |

平成24年第2回定例会一般質問

平成24年6月15日・18日・19日

(14枚のうち14枚目)

| 順位 | 発言者 | 発言時間 | 質問事項 | 質問の要旨 | 質問の相手 | 長から委任を受けた説明者 |
|----|---------|------|----------------|---|-----------|--------------|
| 14 | 緒方 重則議員 | 20分 | 1 スポーツ振興対策について | <p>スポーツに親しむことは、健康保持・ストレス解消・世代間交流など心身共に健全に育むと同時に、地域コミュニティの形成・活性化へ繋がっていくが、</p> <p>(1) 競技施設を改善充実することで、スポーツに接する人たちが増えるのではないか。</p> <p>(2) 県下一周駅伝競技に象徴されるように選手育成など底辺拡大策が必要ではないか。</p> <p>(3) 今後のまちづくりに、カヌー競技に代表されるようなスポーツ交流策は。</p> | 市長 教育長 | |